

【主な記事】

- 1面 久重大忘年会、青少協みかん狩り
区民運動会、避難所開設訓練
2面 久重豊穣祭、永平寺町視察交流会
3面 とさやまより応援、里山ウォーク
久礼野蓄電池施設対応
4面 クロスワードパズル、里山再生事業、連載記事 10 年のあゆみ

久重地域連携協議会 ニュース

11月1日久重人口	世帯	人口
全 体	494	1006
(+3)	(+5)	
久礼野	141	295
重 倉	353	711
()内は前月との比較		

一第 68 号
2025.12.25 発行
発行責任者:武林由希子
編集:情報部会
高知市久礼野 452

ホームページ:「久重連携」で検索ください。



12月6日、参加者37名の久重大忘年会が開催されました。この一年を労い、和やかなひとときを楽しみました。
新しい年に向け、より一層結束し、心をひとつに歩んでいける一年となりますように。

10月25日(土)、久重小学校防災参観日に合わせて久重自主防災連合会の避難所開設・炊き出し訓練を開催しました。建物の安全確認チームの作業から始まり、受付設置チーム、区割りチーム、区割り誘導チーム、トイレチーム、総務チーム、子供達も6班に分かれてそれぞれのチームで大人顔負けの活躍でした。その後1~4年生は揺れマット、ガラスふみマットで楽しみながら体験をしました。5・6年生は段ボールベット、簡易トイレ、マンホールトイレの組み立ては目をキラキラと輝かせての作業でした。最後に炊き出しの美味しいカレーライスを頂きました。事故、怪我無く無事に終了することが出来ました。関係者の皆様ご協力ありがとうございました。

(久重自主防災連合会会長 二川益行)

災害時に備えて 避難所開設・炊き出し訓練



香我美町山北に 久重の子どもたちが大集合！



▲優勝した重倉B。人数が少なく、出ずっぱりでしたが、各世代が揃っていることが勝利の決め手とか。

11月24日、久重地区青少協主催『山北みかん狩り』を開催。88名の参加があり、親子やお友達とたくさんのみかんを頬張りました。

▼10月19日、第29回久重区民運動会を開催。参加者230名の笑顔で賑わいました。





久重保育園園児の和太鼓



Team STREETさん



子どもに大人気！マジックショー



おなか畠さん



久重体育会さん



マイエミートさん



piccoloさん



RIVER VILLAGEさん



暗くなるまでお餅の準備をしてくれました！久重産もち米



徳屋さん

第5回 久重豊穣祭

来場者数は約 500 人！お越しいただきありがとうございました😊

応援団長
武林青空さん

久重地域連携協議会は、今年で設立10周年目になりました。そこで豊穣祭で設立時のメンバーに出席いただき、10周年記念式典を行いました！



Coro Tuttiさん



手作りのお餅のふるまい



教頭先生のピアノコンサート



久重youth



久重小PTAさん



Tlalocさん



里山やすらぎヨガさん



陶美庵さん



はぐくみプロジェクトさん



八百バルさん



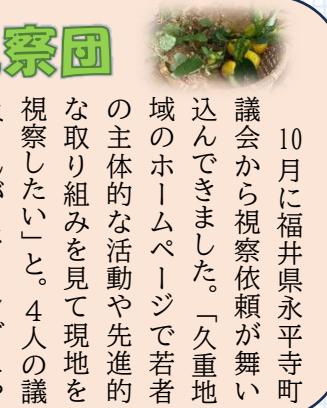
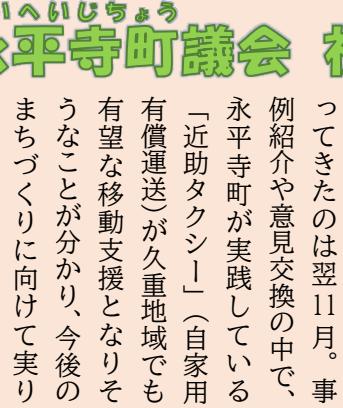
ようこそ！ 福井県永平寺町議会 視察団



秦民踊クラブさん



はぐくみプロジェクトさん



10月に福井県永平寺町議会から視察依頼が舞い込んできました。「久重地

域のホームページで若者の主導的な活動や先進的な取り組みを見て現地を

視察したい」と。4人の議員さんがヒアリングにやつてきたのは翌11月。事例紹介や意見交換の中で、

永平寺町が実践している「近助タクシー」（自家用有償運送）が久重地域でも有望な移動支援となりそうなことが分かり、今後のもちづくりに向けて実りある交流となりました。

かわいい仲間の応援団！

今年の久重小学校運動会は、雨天順延の平日開催となりました。残念に思っていましたが、とさやま保育園の年長組さんが急遽、応援に来てくれることに！1つ1つの競技に一所懸命に取り組む姿に同じ仲間の応援はとても心強かったことでしょう！平日開催で予定してなかった未就学児のお菓子釣り競技にとても喜んでいました。毎月の交流で絆を深めた仲間との交流が頼もしく感じました。最後はみんなで記念撮影。ひまわりのような笑顔が見られました。

(久重小 PTA 会長 土居高子)



工石山登山 第6回久重里山ウォーク

楽しみにしていた里山ウォークは晴天で暖かく、気持ちよくスタートしました。嬉しかったことは…

- 参加者 10名。（小学生2名、高校生1名、お父さん1名、高知市地域コミュニティ推進課の方1名…の参加は特に嬉しかった）
- 高知工業高校の生徒さん制作の登山経路図の看板が見やすく素敵だった。
- 工石山青少年の家のガイドさんが説明してくれ、とても丁寧な説明で大きな岩にも順番に上がり、土佐町の棚田や遠くの山並みを見る事ができた。
- 牧野さんの愛したバイカオウレンの群生地も何ヵ所かあることが分かった。
- 頂上からは、土佐湾や滑走路が見えた。
- アカラギ(ヒメシャラ)の美しい木の肌。
- 登りと下りで、違うコースを楽しめた。
- サンショウウオを見ることができた。



工石山は久重地域から登山口まで、30分くらいと近い山であり、いくつもの登山コースがあり、登山道も整備されているので、たくさんの方に親しんでほしい山です。春のアケボノツツジ、シャクナゲも見事です。

(参加者 入定・山本佐代子さんより)

小学校付近に大規模蓄電所建設設計画

県道脇の造成地で2029年内操業予定／在京事業者が説明会／低周波騒音や火災を懸念／久礼野自治会などと対応策協議へ

久礼野公民館近くの県道脇に

りますが、高知県内では初めて
とみられます。

蓄電所は①コンテナ状の蓄電池群（リチウムイオン電池）②PCS（パワーコンディショナー）直交流変換装置）③特別高圧変

用蓄電所を建設する計画が持ち上がっています。11月24日に在京の事業者による合同説明会があり、周辺住民とともに連携協、久礼野自治会の役員たち17人が参加して質疑応答を重ねました。事業開始時期は2029年内で、それまでに住民の理解を得ながら諸手続きを進めていきたいとのことですが、蓄電所は危険物取扱所に指定され、低周波音による騒音被害なども報告されています。小学校から100mほどしか離れていない場所でもあり、不安が尽きないため、今後は要望・確認事項を整理しながら事業者側と定期的に協議していくことになりました。

系統用蓄電所とは、太陽光などの再生可能エネルギーの発電量が多く余剰が生じる時季・時間帯などに充電（低価格で購入し、電力消費量が多い時に放電（売電）する設備です。卸電力市場などの整備が進んで蓄電がビジネスとして成立しやすくなっていることが背景にあり、全国で開発・設置事例が増えつつあります。

今年夏に松山市内で運転開始した蓄電所（12MW）の4倍強に相当します。

周辺住民への個別説明に訪れた事業者に申し入れて実現した合同説明会では、騒音や火災に対する懸念などとともに、「やめてほしい」という反対意見も出されました。事業者側は「火災の可能性はゼロとは言えないが騒音対策は万全の措置を取る」「何をどうしていくかは確認書や協定などの書面にしておる」「土木工事は地元業者にお願いするので紹介してほしい」などと理解を求めました。

建設予定地は、今年7月にオレンジポストへ寄せられた困りごと案件の対象となつていていることが背景にあります。建設予定地は、今年7月に土地の境界画定や地盤の強度確認などクリアすべき数々の課題があるといふことです。低周波音は天候や地形次第で到達距離が伸びる。この指摘もあり、連携協として対応策を練つていくことが重要だと考えています。



配置計画平面図(例)

（生活環境部会）

ります。建設予定地は、今年7月にオレンジポストへ寄せられた困りごと案件の対象となつていています。

締切り…2026年1月15日(木)

タテ、ヨコのことばをうめて、赤い7つの□の文字を並べ替えましょう。ヒント：久重youth(ゆーす)がたずさわっています。

★久重の年末年始恒例★

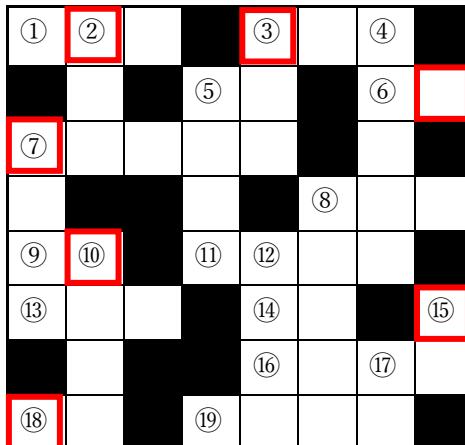
久重クロスワードパズル

<ヨコの問題>

- ①中南米のアンデス高原が原産地。イタリア料理には欠かせない赤い野菜
- ③社交、モダン、ストリートなどのジャンルがある
- ⑤羅生○○、凱旋○○
- ⑥味付け○○、焼き○○
- ⑦お彼岸の頃、咲く赤い花
- ⑧もち米やうるち米などで作った餅を笹などで包んだもの。
- ⑨奈良公園にたくさんいる動物
- ⑪「〇〇〇〇電話に接続します」
- ⑬カラオケには欠かせない手に持つ道具
- ⑭〇〇黒つける(はっきりさせるという意味)
- ⑯北アメリカにある山脈
- ⑰868本のホームラン世界記録を持つ往年の名選手
- ⑲窓の光をさえぎるための幕

<タテの問題>

- ②子どもが大好きな本
- ③もともとは仏教用語の「ダーナ」、妻が夫を指す言葉としても使われる
- ④9人の男性アイドルグループ名。英語では「ゆきだるま」を表す
- ⑤英語で「携帯できる、持ち運びが可能」という意味
- ⑦宮島、もみじ饅頭、平和公園といえば
- ⑧ZOZO マリンスタジアムに本拠地を構えるパリーグの野球チーム
- ⑩問題を解くことや質問に対する答えを返すこと
- ⑫回転ずしの人気店の一つ
- ⑯YES (イエス) の反対語
- ⑰2025年はこの価値が上がっています。



紙に必要事項（①クイズの答え、②名前、③住所、④連絡のつく電話番号）を記入しお近くのオレンジポストに1月15日(木)までにご投函ください。正解者のなかから10名の方に千円相当の商品券が当たります。16日以降のポスト回収後、厳選なる抽選を行います。なお、応募いただきました個人情報は発送終了後に破棄いたします。応募用紙の指定はありません。たくさんのご応募お待ちしております。

里山体験・移住者交流

12月6日“耕作放棄地の再生”をテーマに「芋ほり&移住者交流会」を開催しました。移住者9名、高知市移住定住促進課3名、土佐山地域振興課2名、高知県立大学応援隊3名、地域住民やスタッフを含む約50名が参加しました。6月に植えたサツマイモと9月植えのジャガイモを収穫し、今後再生予定農地を紹介。市民のための農園づくりを目指す取り組みも説明しました。天候にも恵まれ子どもから大人まで土に触れながらの収穫体験を満喫、全員揃って記念撮影。重倉公民館では地元食材を使った豚汁、羽釜の炊き込みご飯、イノシシ汁を提供し、広場の焼き芋も「ねっとり系」「ほっこり系」



など大人気。自然と地域の温かさを感じる一日となり、参加者からは「羽釜ならではのおこげがおいしい」「トゲのあるゆずの収穫が新鮮」「イノシシ汁は初めてだがとてもおいしい」など、これまでにない体験を喜ぶ声が多く寄せられました。芋やゆずをお土産に楽しい一日となりました。関わっていただいた多くの皆様の協力により無事にイベントを終えられた事を感謝します。この経験を糧にこれからも活気ある自然豊かな里山づくりに取り組みます。（集落支援員 中屋良弘）

【編集後記】…連携協設立10周年。記憶が薄れてしまわないうちに振り返りを連載することにしました。懐かしく読んでください（リン）■

10月30日に地域内の団体を集めて市の説明会を行い、翌年4月7日会は設立された。

（設立当初会長 林 照男）

「たかが10年、されど10年。」10年ひと昔。しかしその10年をどう過ごすか。歴史を彩ってきた重鎮＝立役者がいてこそ。知らなかつた地域のあゆみに触れることがから次の10年の再スタートへ。シリーズ「久重地域連携協議会の10年」どんな展開になるのか楽しみ！（スノー）■

連携協議会を作ろう、と決意を固めたのは久礼野茶房だった。設立前年の2014年10月9日、入定、久礼野、重倉、緑ヶ丘団地4つの自治会から男女7人が集まった。

7月12日、第1回市長との意見交換会で、合併した土佐山や鏡地区はよくなっているのに久重地域など旧高知市の中山間地域はほとんど市の振興策がないということを思い知られ、このまま何もしなければ、久重地域は浮かばれないという思いで集まつたのだ。

やはり、土佐山のように自ら地域づくりをしなければ行政も振り向いてはくれないと自己反省しながら、市が呼びかけている財政支援付き（年間35万円）地域内連携協議会について話し合った。

ほとんど自治会どうしの付き合いがない久重地域でまとまつた取り組みができるのが、強力なリーダーシップがないと無理など不安な声も飛び交つたが、最後はやるしかないという危機感や使命感が上回った。

2015年12月4日、久重地域連携協議会設立準備会発足、5回の検討会を経て2015年12月4日、久重地域連携協議会は設立された。



2015.12.04 久重地域連携協議会設立総会

久重地域連携協議会の10年

シリーズ

1 久礼野茶房会談